

貸借対照表

2023 年 7 月 31 日 現在

株式会社 インフォウェイブ

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
【 流 動 資 産 】	[2,198]	【 流 動 負 債 】	[324]
現金及び預金	2,062	未払金	165
そ の 他	136	未払法人税等	29
		そ の 他	129
		【 固 定 負 債 】	[19,975]
		長期借入金	19,975
		負 債 合 計	20,299
		(純 資 産 の 部)	
		【 株 主 資 本 】	[Δ 18,101]
		資 本 金	10,000
		利 益 剰 余 金	Δ 28,101
		別 途 積 立 金	2,000
		そ の 他 利 益 剰 余 金	Δ 30,101
		繰 越 利 益 剰 余 金	Δ 30,101
		純 資 産 合 計	Δ 18,101
資 産 合 計	2,198	負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,198

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

【 重要な会計方針 】

収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

請負契約

受注制作の検査装置及びソフトウェアについては、主に顧客との間で請負契約を締結しており、主な履行義務は顧客の仕様に基づく製品の製造販売であります。

当該製品の製造販売については、顧客の利用目的に応じたカスタマイズが含まれており、義務を履行するにつれて別の用途に転用することができない資産が生じ、進捗した部分に対する対価を収受する強制力のある権利を有するものの、取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短いため、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

【 収益認識に関する注記 】

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報については、「【重要な会計方針】収益及び費用の計上基準」に記載のとおりです。

【 株主資本等変動計算書に関する注記 】

発行済株式の種類及び総数

株式の種類	前事業年度末 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
普通株式	200 株	- 株	- 株	200 株

【 当期純損益金額 】

当期純損失

363 千円